

## 「事業名：日本版ハンフォードモデル構築による福島復興創生」 2020年度事業の概要

**東日本国際大学 連携市町村：いわき市、広野町、楡葉町、川内村、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村**  
**現地拠点：福島県双葉郡広野町大字下北佐久迫字大谷内65**

### 事業のポイント

本事業の主な趣旨は、東日本国際大学福島復興創世研究所をコーディネーターとして、福島県のいわき市・双葉郡8町村、将来的にはいわき商工会議所、双葉郡の商工会（産業界）が産学官民一体となって米国ハンフォードの主な機関（関係自治体、トライデック、国立パシフィックノースウェスト研究所、ワシントン州立大学トライシティーズ校、コロンビアベイスン短期大学等）と緊密な連携協力関係を築き、福島浜通り地域がハンフォード地域をモデルとして調査研究・検証することで、廃炉の進展、産業の振興、地元の実利をもたらす地域構造の構築等をより一層促進させ、福島復興のための新たな地域創出に寄与することである。

### 2020年度の活動内容

- 「昌平覺キャラバン」の実施（いわき市、双葉郡8町村でセミナー開催）
- 米国ハンフォード地域との連携協力活動の活発化
  - ・米国ハンフォード地域への現地調査
  - ・国際セミナーの実施
- 福島浜通り地域と米国ハンフォード地域の産業界の連携に向けた調査研究の実施
- ハンフォード地域に関する教育プログラムの一層の充実
- 調査研究成果の一層の普及

### 取り組みによって得られる成果

- ・ハンフォードとのコネクションの構築
- ・いわき市・双葉郡8町村との連携協力協定締結を踏まえた広域的な連携体制の構築
- ・ハンフォード地域に対する浜通り地域関係者・地域住民及び国・県・関係機関団体の理解促進
- ・ハンフォード地域関係者における福島浜通り地域の理解促進

### 米国ハンフォード地域の連携協力体制

